

女性大工への 挑戦を応援し サポートを 続けていきます



代表取締役
大場 江美さん

面接のときに首都圏からはるばるやってきた佐藤さんと初めて会った時から、大工職人になりたいという強い意志を感じました。そして、仕事を始めてからは、自分から学ぼうとする姿勢に、「職人」としての資質を垣間見ることができました。今後も、佐藤さんをサポートできるように、親方と相談しながら適材適所の家づくりを心掛けていきます。

建築業界では、大工職人の高齢化や人手不足が課題になっていて、佐藤さんのようなやる気のある若い職人さんは貴重な存在です。

昔より工具や工法もはるかに進化して、男女の力の差をカバーできるようになりました。同性として、建築業界で活躍する女性ももっと増えてくれたらと思っています。

株式会社サスティナライフ森の家

森を守り、木を育てることから始まる木組みの家づくりで、日本の伝統建築と地域資源を活用した持続可能な循環する暮らしを提案。木材はもちろん、家づくりに必要なさまざまな素材の安全性やトレーサビリティにも配慮している。

所在地／仙台市泉区福岡字西森下 39-13

TEL 022-725-2775

http://www.sustenalife.co.jp/

従業員数 18人 / 女性3人 (2018年7月現在)



もともと東京で英語教材を制作する会社で働いていた私は、休日に美術品や建築物を鑑賞するのが好きでした。歴史的な建造物や建築家が手掛けた建物まで、いろいろな建物を眺めるうちに、「もっと建築について勉強したい」と考えるようになりました。そこで、大工職人になることを決めました。

休日は、普段はなかなかできない部屋の掃除や洗濯を一気に片づけます。そして空いた時間でゆっくり読書をしながら、日頃の疲れを取っています。女性の職人は、まだまだ少ないですが、チャンスが全くないわけではありません。また、学生の時に建築について学んでいなくても、工務店などに就職した後、職業訓練所で働きながら知識や技術を学ぶことができます。チャンスをつかむためには、自分から一歩を踏み出すことが大切。これからも、一つでも多くの現場で仕事ができる機会を得て、家づくりを楽しみたいです。

休日は掃除と洗濯の 合間にゆっくり 読書をして 楽しんでいきます



「小説やミステリーなどを
読むことが多いのですが、
やっぱり建築関連の本も
気になってしまいますね」

大工職人の夢がかない 一つ一つの作業すべてが 喜びと幸せを感じる 瞬間です！



みやぎ ものづくり女子

木の家を作っています

株式会社サスティナライフ森の家
(仙台市)

さとう あさみ
佐藤 麻美さん



室内の扉や家具などの木工製品の製作や取り付けも大工職人が行うことがある

木造家屋の骨組みに使う材木を加工したり、現場で材木を組んで家の形にしたりする大工職人として働いています。材木を組むために、材木同士の接合部分には、「刻み」と呼ばれる加工を施します。材木を刻む目印を付ける「墨付け」をした後に、長さを継ぎ足すための「継手」や、角度をつけて組み合わせるための「仕口」を、ノミや鋸、電動工具を使って刻みます。

まだ大工職人になってから3年目なので、覚えなくてはならないことばかり。親方から教えていただいた材木の刻み方や組み上げる方法を一度で確実に覚えられるように、その日のうちに復習することを心掛けています。刻み方については、墨付けした材木に直接紙を当てて構造を書き写して記録しています。親方に教えていただき、私が担当するのは、床などになる土台の部分です。力仕事では男性と比べるとどうしてもかなわないので、できることとできないことがあります。でも、重い材料や道具の中には、工夫すれば運べるものがあるので、できる限り「よしよし」と気合を入れて持ち上げて仕事をしています。材木の加工場や家の建築現場で技や知識を身に付けていながら、それを仕事に生かしていく。夢だった大工職人になることができ、家づくりができる幸せを日々感じています。